

＜ 今日の説教のポイント 創世記 42章1～38節 ＞

①不可解なヨセフの対応 その深い意味こそ、この章の魅力！

(1-16) ヨセフの兄たちは飢餓から逃れるためにエジプトに行き、そこでヨセフと再会しました。かつてヨセフが見た、兄たちが自分にひれ伏すという夢がついに現実となったのです。これで「めでたし、めでたし」かと思いきや、そうはならず、ヨセフはさらに兄弟たちを苦しませる対応を続けたのです。なぜでしょうか？

②罪を気づかせて下さる神様 ヨセフの中に神様を見る！

(17-25) ヨセフは兄たちを三日間牢獄に入れました。まさに兄たちを苦しめたように思えます。しかし、それによって兄たちは、「言われる通りにするしかない」と思うようになっただけでなく、かつて自分たちがどれだけヨセフにひどいことをしたかを思い出し、その罪深さに気づいたのです！ 私たち人間は、自分が言ったりしたりした酷いことにはなかなか気づかず、同じことをされて初めて気づくことがあります。ヨセフが兄たちにした行為は、彼らがヨセフにしたことの罪の深さに気づかせるためのものだったのです！ ヨセフは気づいた兄たちの姿を見て泣き、家に帰る兄たちの袋に穀物と銀を詰めてやり、道中の食料まで与えます。このヨセフは誰かと似ています。イエス・キリストをお与え下さった聖書の神様です！ 私たちの罪を見過ごすのではない、その罪になんとかして気づかせたい、その道を御子によって開いて下さった神様です。ヨセフの不可解な行為はこの神様を考えると理解できるのです！

③なお罪深い私たち しかし、もう救いの道を歩み始めている！

(26-38) しかし、ヨセフの「試し」(15)はなお続きます。なぜでしょうか？ 「正直な人間」(31, 33, 34)であることが試されているのです。兄たちはまだ全てを打ち明けていません。しかし、「神を畏れる者ヨセフ」(18)に対する中で、ルベンをはじめとして(37)その「正直な人間」の方向に向かい始めています。42章ではまだ神様の意図は見え、ヤコブも兄たちも苦悩のどん底にあります。しかし神様(ヨセフ)が見つめる中をこの先も進んで行くのであり、その先にゴールが待っているのです。私たちの人生も同じです！